

2017（平成29）年5月22日

理工系人材育成に関する産学官円卓会議(第10回)

産学連携ベストプラクティス

8 大学との意見交換と土木情報学の導入

産業競争力懇談会（COCN）

実行委員長 須藤 亮

（株式会社 東芝 技術シニアフェロー）

8大学とCOCNの交流経緯

8 大学執行部（総長・学長・産学連携本部）との意見交換

文科省科学技術・学術振興局産学連携・地域支援課の助言

第1回 2015年6月4日 於：東京大学

第2回 2015年9月3日 於：東京工業大学

8大学サイトビジットと個別意見交換

2015年12月 名古屋大学、東京大学

2016年 3月 大阪大学

4月 北海道大学、九州大学

5月 東京工業大学、京都大学、東北大学

大学：総長・学長・産学連携本部担当理事等の関係者

COCN：実行委員会メンバー、当該大学に関心ある会員企業

8 大学との意見交換を踏まえたCOCNの活動

- ・各大学共に、執行部レベルでの意見交換では、産学連携への意欲を認識し、必要な施策への積極的な取り組みが行われていることを確認。
- ・具体的な連携対象テーマとして、COCNの2015年度推進テーマ「IoT、CPSを活用したスマート建設生産システム」で提起した「土木情報学」のカリキュラム化をサイトビジットで各大学に提案。
- ・執行部の高い意識の一方、個々の研究者の意識との乖離もあり得ることから、研究者への課題提起の意味も含め、2016年度推進テーマ「学会をオープンイノベーション推進の場とするための方策」をプロジェクト化。
連携対象の学会：日本機械学会、応用物理学会、高分子学会
土木学会 等

土木情報学の整備

2015年度推進テーマ「スマート建設生産システム」の提言

- (1) BIM/CIMの進化
- (2) ICTの導入
- (3) 教育研究機会の充実が必要と提言

(3) について大学における教育研究の充実が必須

土木分野の教育／研究の発展基盤

土木情報学は、土木工学の基礎的素養、異分野領域の技術との融合促進、また、Society 5.0を実現する中での土木領域の発展にとっても重要と評価。

- (1) 土木工学におけるデータの取扱いによる新分野の展開
(ビックデータ解析、データの標準化による将来の大学・研究機関・民間連携)
- (2) デジタル化推進による生産性の向上
(ロボットの導入、BIM・CIM、国際協力)
- (3) 建設生産におけるCPS (サイバー・フィジカル・システム) の高度利活用

土木情報学とSociety5.0への貢献

Society 5.0の実現に資する領域

総合科学技術・イノベーション会議（本会議）は本年4月、平成30年度から着手する官民投資拡大推進費のターゲット領域の一つとして「革新的建設生産・維持管理/革新的防災・減災技術」を設定。

これら領域にとって、生産システムのみならず「土木情報学は重要な基礎」となる。

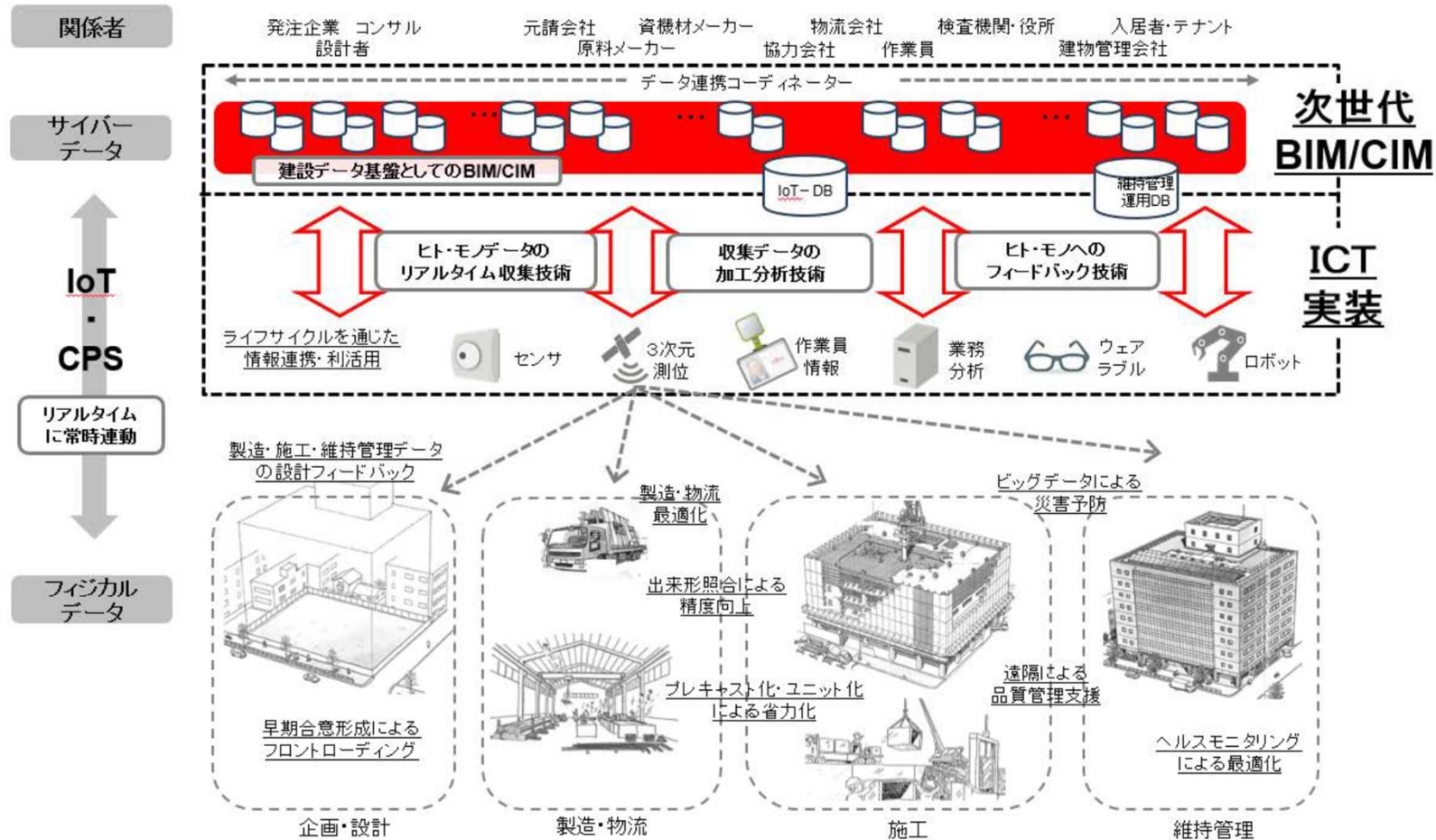
COCNと土木学会との協力による合同会議

昨年8月、土木学会・COCNの共催の下、8大学の研究者や国交省、文科省を加えた意見交換会を開催。

本年5月下旬、2回目の会議を予定。

土木学会土木情報委員会において「土木情報学ハンドブック」を編集中

【参考】「スマート建設生産システム」の骨格 COCN 2016年度推進テーマ



※記載イラスト：一般社団法人日本建設業連合会関西委員会「イラスト「建築施工」」、及び全日本建設技術協会「土木構造物設計ガイドライン」より引用

学会をオープンイノベーション推進の場とするための方策

- (1) 複数学会およびCOCN会員企業の意見集約
- (2) 学会をハブとする連携を立上げるための方策提案と立上げ支援
- (3) 本プロジェクトの活動報告書の公開によるすべての学会への情報開示

